学校番号	1201

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）進学国語演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「読解現代文必携　キーワードの卵」（尚文出版） 「新版三訂　ニューエイジ　現代文　必修２」（第一学習社） 「新版二訂　みるみる実力アップ　現代文　３」（第一学習社）　　など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は、進学の際に求められる知識や読解力、表現力を身につけるための科目です。
・指示された予習や授業内で出された課題は必ず行いましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
大学・短期大学や専門学校への進学に必要な語彙力や漢字の知識の基礎を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
いろいろなジャンルの文章を読み、その内容について論理的に思考・判断することができるようにする。また、場面や状況に応じて、自分の考えを適切に、かつ効果的に言葉で表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉や文章を通して、他者の意見や未知の分野の用語・考え方に積極的に関心を持ち、学ぼうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や、文学・哲学などのさまざまな専門分野で用いられる言葉（漢字や慣用句、キーワード等）に関する知識を身につけ、それらを適切に用いることができている。	いろいろなジャンルの文章を読み、その内容について論理的に思考・判断することができている。また、課題や設問に応じて、自分の考えを適切な言葉で表現することができている。	文章読解やコミュニケーション活動を通して、他者の意見や未知の分野の概念・考え方を、積極的に理解しようとしている。また、そうした活動を通して、自分の考えを見直したり、さらに深めたりすることができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・現代文でよく用いられるキーワード(漢字、慣用句等)について、書き取りや作文を行う。 ・評論、小説、随筆それぞれのジャンルの文章を扱い、論理的に文章を読解する練習を行う。 ［教材］ 「キーワードの卵」第1～10回 「ニューエイジ」第1～13回	a:社会生活や日常の中で用いられる基礎的なキーワードについて、その意味を理解し、また、読み書きを行うことができている。 b[読]:各ジャンルの文章を読み、その内容について論理的に考え、情報を取捨選択することができている。 c:文章読解の中で、筆者の見解や、未知の分野の用語や考え方について、積極的に関心を持とうとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
2学期	・現代文のキーワードについて書き取りや作文を行い、さらに自分の語彙を増やす。 ・各ジャンルの文章をさらに読み、文章全体の内容や論理展開を構造的に把握できるようにする。 ［教材］ 「キーワードの卵」第11～20回 「ニューエイジ」第14～26回	a:文学作品や思想・哲学等の分野で頻出するキーワードについて、その意味を理解し、また、読み書きを行うことができている。 b[書]:設問の内容に応じて、自分の考えや解答を適切な言葉で表現することができている。 c:哲学、政治、経済等、さまざまなジャンルの文章を読み、各分野の専門的な概念や考え方について、より理解を深めようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート
3学期	・現代文のキーワードについて書き取りや作文を行い、習得した語彙をより実践的・効果的に活用できるようにする。 ・発展的な内容の文章を扱い、論理的な読解や構造把握の精度をさらに高める。 ［教材］ 「キーワードの卵」第21～25回 「みるみる実力アップ」第1～8回	a:文学・哲学等の分野で頻出するキーワードについてさらに学習し、また、学習した言葉を自分の語彙として効果的に用いることができている。 b[話／聞]:これまでに習得した語彙を効果的に用いて、自分の考えを表現できている。 c:他者の考えを傾聴し、自分の考えを見直したり、さらに深めたりしようとしている。	テキスト点検 定期考査 小テスト	テキスト点検 定期考査	行動観察 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間